

令和7年度
事業報告

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

目次

I. 事業概要	1
II. 協会運営	1
III. 埋蔵文化財発掘・整理調査事業	3
IV. 企画事業	11
V. 保存活用事業	14
VI. 「県立安土城考古博物館」「県立琵琶湖文化館」および「県埋蔵文化財セ ンター」の管理運営事業	15
「県立安土城考古博物館」	15
「県立琵琶湖文化館」	26
「県埋蔵文化財センター」	30
VII. 文化財保護資金貸付事業および文化財活用資金貸付事業	33

令和7年度 事業報告

I. 事業概要

公益財団法人滋賀県文化財保護協会（以下「協会」という。）は、歴史上・学術上価値の高い滋賀県の文化財を調査・研究するとともに、それらを文化資産として保護・活用をはかることによって、我が国の文化の向上に寄与してきた。

発掘調査事業では国土交通省等の国事業に伴う整理調査、県の土木交通部および農政水産部等の公共事業に伴う発掘調査および整理調査に取り組むとともに、市町事業にも積極的に対応するように努め、その発掘調査および整理調査を受託した。

普及啓発事業では、これまで協会に蓄積された技術職員の経験やノウハウ等を活かして市町等に積極的なマネジメント、運営、広報を行い、積極的な情報発信および主体的事業の実施に努めた。

滋賀県立施設管理運營業務では、滋賀県立安土城考古博物館の指定管理業務（令和3年度～令和7年度）を受託し、指定管理計画に基づき、5年目の管理運營業務等を実施するとともに、新たに令和8年度1年間を指定期間とする指定管理者の指定を受けた。

また、滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県埋蔵文化財センターの業務を受託し、管理運營業務等を実施した。

II. 協会運営

1. 役員会議等の開催

①決算監査	令和7年 5月21日（水）
②第1回定例理事会	令和7年 5月29日（木）
③定時評議員会	令和7年 6月20日（金）
④第1回臨時理事会	令和7年 6月20日（金）
⑤第2回定例理事会	令和7年 9月 5日（金）
⑥決議省略による理事会	令和7年 9月22日（月）同意日
⑦第3回定例理事会	令和7年12月10日（水）
⑧第4回定例理事会	令和8年 3月19日（木）

2. 管理事務

令和5年3月に策定した『第六次中期計画』（令和5年度～令和9年度）の3年度にあたる。本計画は、協会の将来を見据えた経営の指針であり、経営に関わる基本計画であるとともにアクションプラン（行動計画）として位置づけるものである。「文化財を通した豊かな滋賀づくりへの貢献」を基本理念にした事業方針に基づいた取り組みを行った。

(1) 主な取組

- ①第六次中期計画の進行管理（通年）
- ②令和6年度事業報告書および令和6年度収支決算書の作成
- ③職員安全衛生委員会の開催（5月22日、10月1日、2月3日）、職員、産業医による安全衛生パトロール、安全衛生委員会ニュースの発行
- ④熱中症対策の強化と徹底
 - ・令和7年6月1日から義務化される職場における熱中症対策への対応として「熱中症」対応フローを作成
 - ・発掘現場へのアイススラリーの配備と毎週水曜日の作業休止
- ⑤「文化財保護協会の主な課題と対応の方向性」についての協議（7月8日、7月10日、7月24日）
- ⑥令和8年度県予算編成等に向けて県に要望（7月30日）
 - ・重点要望項目として、「発掘調査事業の調整と経営の安定化について」、「滋賀県埋蔵文化財センターに関して」、「滋賀県立安土城考古博物館の今後の運営について」等6項目を要望
 - ・緊急要望項目として、「滋賀県埋蔵文化財センターに関するもの」を要望
 - ・一般要望項目として3項目を要望
- ⑦企画・経営会議（令和7年8月から役付会議の名称を変更）（毎月最終週の木曜日）および常会（毎月月初め）の開催
- ⑧職員面談の実施（8月・11月）
- ⑨就業規則の一部改正
 - ・育児・介護休業法改正等に伴う改正（第2回定例理事会）
 - ・懲戒事由の追加等に伴う改正（第4回定例理事会）
- ⑩ハラスメントの相談窓口の拡充（常務理事の相談窓口への位置づけ、外部相談窓口の設置（10月～））
- ⑪滋賀県立安土城考古博物館の指定管理者指定申請
 - ・指定管理者指定申請書の提出（10月2日）
 - ・滋賀県指定管理者等選定委員会（博物館部会）ヒアリングへの出席（10月11日）
 - ・選定結果の報告（第3回定例理事会）
- ⑫「滋賀県埋蔵文化財センターのあるべき姿について」を県に提案（10月28日）
- ⑬安土城考古博物館に関する課題と対応方針について検討するためのプロジェクトチームの立ち上げと協議（11月7日～）
- ⑭令和8年度協会事業計画の作成および予算編成作業
- ⑮資産運用規程の改正（第4回定例理事会）
- ⑯職員採用計画の作成
- ⑰危機管理マニュアル（地震・風水害編）の作成

Ⅲ. 埋蔵文化財発掘・整理調査事業

令和 7 年度に実施した発掘調査件数は 8 件（令和 6 年度：13 件）、整理調査は 22 件（令和 6 年度：15 件）の計 30 件（令和 6 年度：28 件）である。調査面積は 32,803m²（令和 6 年度：53,078.16m²）で、前年度調査面積比 61.80% である。

契約件数による事業別では、発掘調査では県土木交通部 3 件・県農政水産部 3 件・市町関係 2 件（守山市 1 件・野洲市 1 件）の事業を実施した。

整理調査では、国土交通省 4 件、県土木交通部 12 件、県農政水産部 2 件、市町関係 4 件（守山市 3 件・豊郷町 1 件）の事業を実施した。また、発掘調査報告書（表 2 参照）については 6 冊を刊行し、関係機関等へ配布した。

なお、発掘調査・整理調査に係る現地説明会・調査報告会については、調査成果をひろく県民へ還元することを目的とし、令和 7 年度についても可能な限り開催した（表 1 参照）。

1. 発掘調査事業（図 1・表 3 参照）

（1）阿弥陀寺遺跡（近江八幡市、県土木交通部事業、4,045m²）

堂川補助通常砂防工事に伴う調査（令和 4 年度から継続）。室町時代の石垣や江戸時代の平坦面を検出したほか、当該期の山寺に関連する遺構も検出した。また、土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品も出土した。

（調査は当該事業地内で 2 事業実施しており、調査面積はその総和。）

（2）御館前遺跡（近江八幡市、県土木交通部事業、1,300m²）

近江八幡竜王線道路整備事業に伴う調査（令和 4 年度から継続）。今年度の調査対象範囲内で弥生時代後期の土坑や平安時代を中心時期とする掘立柱建物・溝・土坑等の遺構を検出するとともに、それらに伴って弥生土器や土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器等の遺物が出土した。

（3）上御殿遺跡（高島市、県農政水産部事業、9,558m²）

県営農地防災事業（青井川地区）・県営経営体育成基盤整備事業（上安曇Ⅰ期地区）に伴う調査。青井川地区では弥生時代後期から古墳時代前期、古墳時代後期それぞれの時期の竪穴建物等を 20 棟以上検出。上安曇Ⅰ期地区の調査では当該地が平安時代以降、それまでに形成された湿潤な谷状地形を埋立・整地による開発を行い耕作地化されたことが調査によって判明した。

（調査は当該事業地内で 3 事業実施しており、調査面積はその総和。）

（4）笠原南遺跡（守山市、民間事業用地造成事業、16,000m²）

民間事業用地造成事業に伴う調査。弥生時代末から古墳時代初めの周溝墓・溝・川・掘立柱建物、古墳時代後期から平安時代の川跡を検出。弥生時代末～古墳時代初頭に造られた 6 基の周溝墓からなる墓域を検出。墓域内には首長墓と考えられる

前方後方形周溝墓が2基含まれていた。また、墓域に隣接して屋内棟持柱を持つ特殊な構造の掘立柱建物が検出されており、祭祀空間の中心を形成していたと考えられる。

(5) 中畑・古里遺跡ほか（野洲市、店舗建設事業、1,900 m²）

民間店舗建設事業に伴う調査。調査の結果、弥生時代後期～古墳時代初頭、古代の大きく2時期の遺構・遺物を検出。弥生時代後期～古墳時代初頭の土坑・自然流路、奈良時代～平安時代の掘立柱建物・素掘り井戸・火葬墓等を検出した。

表1 令和7年度発掘調査に係る現地説明会・調査報告会、報道発表等の開催実績

公開日	参加人数	遺 跡 名	所在地	公開・発表 の方法	場 所	備 考 (対象者等)
6月14日(日)	10人	御館前遺跡	近江八幡市	地元説明会	現地	一般
7月26日(土)	53人	笠原南遺跡	守山市	地元説明会	現地	地元
10月5日(日)	127人	笠原南遺跡	守山市	現地説明会	現地	一般
10月26日(日)	56人	阿弥陀寺遺跡	近江八幡市	現地説明会	現地	一般
3月7日(日)	31人	上御殿遺跡	高島市	調査成果説明会	現地	地元
説明会 小計(a)	277人					
10月1日(月)～ 11月9日(日)	384人	レトロ・レトロの展 覧会2025 整理事業の 調査成果速報	長浜市ほか	遺物展示	埋蔵文化財 センター	一般
10月11日(土)～ 10月12日(日)	448人	あの遺跡は今！ Part32 「整理室へよ うこそ!! 見て触れて感 じる考古学」	栗東市・ 彦根市 ほか	遺物展示・ 作業内容公開	考古博物 館整理室	一般
展示会 小計(b)	832人					
合計(a+b)	1,109人					

- (1) 阿弥陀寺遺跡
- (2) 御館前遺跡
- (3) 上御殿遺跡
- (4) 笠原南遺跡
- (5) 中畑・古里遺跡ほか

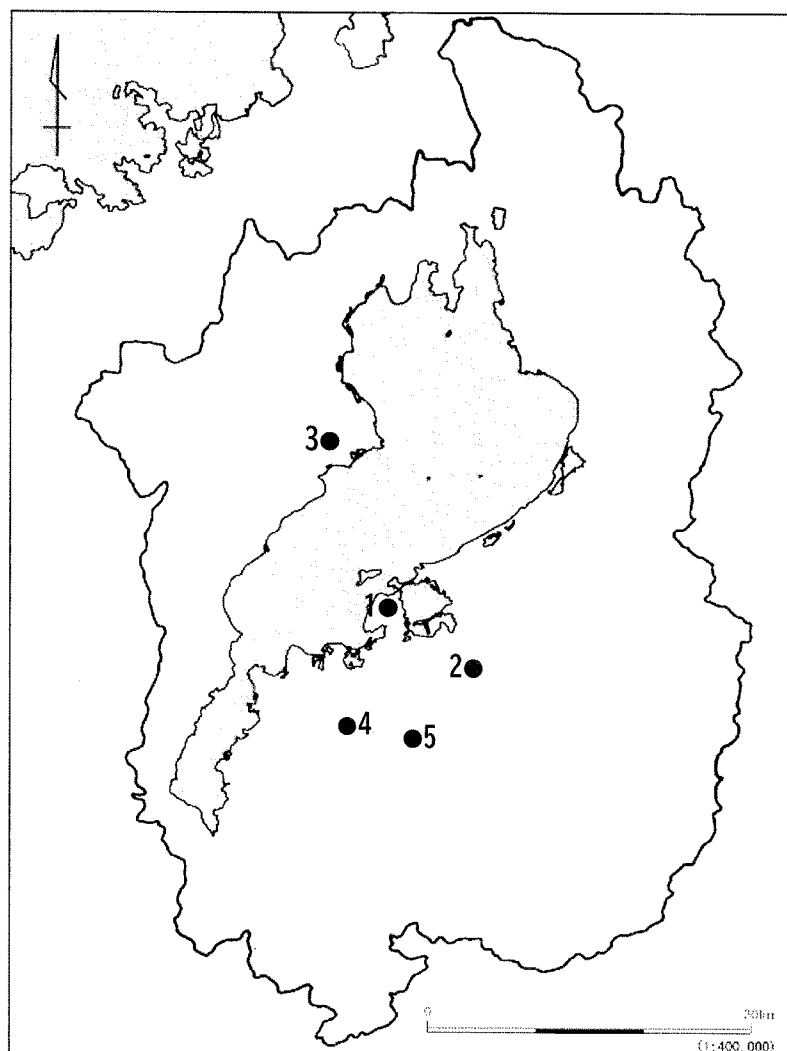


図1 令和7年度発掘調査遺跡の位置

2. 整理調査事業（表3参照）

(1) 国土交通省事業

上砥山遺跡、出庭遺跡・手原遺跡、佐和山城跡、塩津港遺跡の整理調査を行い、上砥山遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

(2) 県土木交通部事業

四十九院遺跡・長野遺跡ほか・御館前遺跡・比江遺跡ほか・林遺跡ほか・朽木陣屋跡（道路整備課）、福林寺古墳群・阿弥陀寺遺跡（砂防課）、江頭南遺跡・蜂屋遺跡（流域政策局）の整理調査を行い、四十九院遺跡・朽木陣屋跡・福林寺古墳群の発掘調査報告書を刊行した。

(3) 県農政水産部事業

高野・六地藏遺跡と妙福寺遺跡（耕地課）の整理調査を行った。

(4) 市町等事業

横江遺跡その1・2・3（(株)丸商・(株)GSユアサ）、八町古墳（(株)関西電力送配電）の整理調査を行い、横江遺跡（その1）および八町古墳の発掘調査報告書を刊行した。

表2 令和7年度刊行の発掘調査報告書一覧

報 告 書 名	所在地	事業者	内 容
滋賀県文化財保護協会調査報告 第7集 栗東市 上砥山遺跡	栗東市	国土交通省滋賀国道事務所	飛鳥時代～奈良時代の河道・掘立柱建物等を検出。河道からは多量の須恵器・土師器等とともに木製品が出土。木簡や墨書土器等の文字資料や硯類、祭祀具とみられる琴柱・土馬も複数点出土した。これら出土遺物から当該遺跡と周辺地域には、文字を日常的に使用する階層の人物や、官衙等公的施設の存在が想定できる。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第8集 野洲市 福林寺古墳群	野洲市	県南部土木事務所	古墳群の2号墳・3号墳を対象に発掘調査を実施。2号墳は墳丘径10.1mの円墳に復元でき、横穴式石室を内部主体とする。3号墳は墳丘径11.4mの円墳で、横穴式石室内からは須恵器・土師器・鉄鏃・刀子・耳環等が出土。耳環の組合せ・出土点数から3人以上の埋葬が想定される。これら2古墳の築造年代は、6世紀末から7世紀前葉の時間内に収まるが、横穴式石室の特徴から2号墳が後出すると考えられる。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第9集 犬上郡豊郷町 四十九院遺跡	犬上郡豊郷町	県湖東土木事務所	調査の結果、奈良時代から近代に至る遺構・遺物を検出した。検出遺構・出土遺物から調査地は4段階の活動痕跡が認められ（①8世紀代、②9～10世紀前半、③15世紀中～16世紀後半、④18世紀以降）、特に古代（①・②）については東山道周辺部の開発過程を知る資料が得られた。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第10集 高島市 朽木陣屋跡	高島市	県高島土木事務所	朽木陣屋跡は室町時代～江戸時代の城館跡として周知されている。調査では室町時代後期～安土桃山時代の土坑墓等を検出し、江戸時代の朽木陣屋の前身施設となる朽木城に関わる可能性が考えられる。また、江戸期の陣屋関連の遺構としては、堀・石列・道状遺構（登城道）等を検出した。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第11集 犬上郡豊郷町 八町古墳	犬上郡豊郷町	関西電力送配電(株)	調査の結果、掘立柱建物1棟と複数の小穴・土坑を検出。これらに伴い、土師器・須恵器・灰釉陶器等の土器が出土した。検出された遺構・遺物から、調査地周辺では8世紀と9～10世紀にそれぞれ活動期が認められた。特に後半期には正方位の掘立柱建物が造られていることから、犬上郡主条里・犬上川左岸扇状地上の方格地割が施行される前だったことが窺われる。

滋賀県文化財保護協会調査報告 第12集 守山市 横江遺跡Ⅰ	守山市	株式会社丸商	弥生時代から鎌倉時代にかけて存続した集落遺跡。調査では、古墳時代の溝群（用排水路として機能したか）、平安時代末から鎌倉時代にかけての掘立柱建物・遺物を多量に包含する河川等を検出した。 なお、今回の調査地は、過去に鎌倉時代～室町時代を中心時期とする中世集落が検出された地点の南東隣接地に位置する。近江における中世集落の発展過程を研究するうえでの良好な資料となった。
--	------------	---------------	---

表3 令和7年度 埋蔵文化財調査事業一覧

1. 発掘調査事業

No.	契約 番号	遺跡名	調査面積 (㎡)	検出されたおもな遺構と時期
県土木交通部道路整備課事業				
1	918	御館前遺跡	1,300.00	調査対象範囲内で弥生時代後期の土坑や平安時代を中心時期とする掘立柱建物・溝・土坑等の遺構を検出するとともに、それらに伴い弥生土器や土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器等の遺物が出土した。
県土木交通部砂防課事業				
2	917	阿弥陀寺遺跡	1,964.00	堂川補助通常砂防工事に伴う調査（令和4年度から継続）。室町時代の石垣や江戸時代の平坦面を検出したほか、当該期の山寺に関連する遺構も検出した。また、土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品も出土した。
3	925	阿弥陀寺遺跡(2)	2,081.00	
県農政水産部耕地課事業				
4	919	上御殿遺跡	3,400.00	青井川地区では弥生時代後期から古墳時代前期、古墳時代後期それぞれの時期の竪穴建物等を20棟以上検出。上安曇Ⅰ期地区の調査では当該地が平安時代以降、それまでに形成された湿潤な谷状地形を埋立・整地による開発を行い耕作地化したことが調査によって判明した。
5	927	上御殿遺跡(2)	3,300.00	
6	928	上御殿遺跡(3)	2,858.00	
市町関係事業				
7	920	笠原南遺跡	16,000.00	弥生時代末から古墳時代初めの周溝墓・溝・川・掘立柱建物、古墳時代後期から平安時代の川跡を検出。弥生時代末～古墳時代初頭に造られた6基の周溝墓からなる墓域を検出。墓域内には首長墓と考えられる前方後方形周溝墓が2基含まれていた。また、墓域に隣接して屋内棟持柱を持つ特殊な構造の掘立柱建物が出検されており、祭祀空間の中心を形成してたと考えられる。
8	930	中畑・古里遺跡ほか	1,900.00	調査の結果、弥生時代後期～古墳時代初頭、古代の大きく2時期の遺構・遺物を出検。弥生時代後期～古墳時代初頭の土坑・自然流路、奈良時代～平安時代の掘立柱建物・素掘り井戸・火葬墓等を出検した。
計			32,803.00	

2. 整理調査事業

No.	契約 番号	遺跡名	発掘年度	報告書	検出されたおもな遺構と時期
国土交通省事業					
1	901	上砥山遺跡	H30～R2	○	飛鳥時代～奈良時代の河道や掘立柱建物等を確認。土師器・須恵器等の多量の土器や土馬・琴柱・馬鍬・竪杵・木皿・木鍾等の木製品のほか、木簡や墨書土器等の文字資料や硯も出土。
2	902	出庭遺跡・手原遺跡	H30・R1～4		古墳時代の竪穴建物（前期の鍛冶工房跡含む）・旧河道・掘立柱建物・井戸等を検出、それらに伴い土師器・須恵器・韓式系土器等の土器や、鉄器・鍛冶滓・玉類・砥石等が出土。
3	903	佐和山城跡	H30・R1～4		佐和山城の内堀・土塁のほか、城下町に関連する橋台遺構・掘立柱建物・井戸・土坑等を検出。それらに伴い16世紀後半の土器・陶磁器、木器・金属器・石造品等が出土。
4	904	塩津港遺跡	H24・26・27		平安時代後期から室町時代まで使われた港跡を検出。港は湖岸を埋め立て造成したもの。埋立区画は高密度杭列やシガラミ等で護岸され、水路や造成土内から土器・木製品・金属製品・骨角製品等が多数出土。
県土木交通部道路整備課事業					
5	906	御館前遺跡	R4～6		弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての円形・方形周溝墓群や、古墳時代後期頃の竪穴建物を検出したほか、蒲生郡衙に関連するとみられる奈良時代の掘立柱建物群を検出し、当該期の遺物(弥生土器・土師器・須恵器等)が出土。
6	908	比江遺跡ほか	R2～6		比江遺跡では鎌倉～室町時代の井戸や溝、土坑・小穴の遺構を確認。これらの遺構に伴い、土師器・黒色土器等のほか、曲物・箸等の木製品が出土。
7	909	四十九院遺跡	R6	○	室町時代後期の溝跡・柱穴群を検出し、それらに伴い土器類（土師器・須恵器・陶磁器等）が出土。

8	910	長野遺跡ほか	R6		弥生時代後期の竪穴建物3棟、平安時代の井戸や溝に加えて、鎌倉時代の掘立柱建物3棟・井戸6基・溝等の遺構を検出し、当該期の集落が展開することを確認。併せて、当該期の遺物(弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等)が出土。
9	912	朽木陣屋跡	R5	○	江戸時代の朽木陣屋を構成する堀・道路(登城道)・石列を確認したほか、室町時代～安土桃山時代の土坑を確認。それらに伴い、土師器・陶器・縄文土器等のほか、打製石斧等の石器類、銭貨等の金属製品が出土。
10	915	林遺跡ほか	R6		岩畑遺跡においては弥生時代末から古墳時代初頭および鎌倉時代の集落跡、林遺跡については鎌倉時代の区画溝で囲われた屋敷地跡、六地藏遺跡では古墳時代中期から飛鳥時代にかけての集落跡・近世の廃棄土坑を検出した。併せて、各遺跡から当該期の遺物(土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品)が出土。
11	929	林遺跡ほか(2)			
県土木交通部砂防課事業					
12	907	福林寺古墳群	R2・3・5	○	2・3号墳の調査を実施。2号墳は墳丘径10.1m、3号墳は墳丘径11.4mでともに円墳。3号墳の横穴式石室内からは須恵器・土師器・鉄鏃・刀子・耳環等が出土。耳環の組合せ・出土点数から3人以上の埋葬が想定される。これら2古墳の築造年代は、6世紀末から7世紀前葉の時間内に収まる。
13	914	阿弥陀寺遺跡	R4～6		室町時代の石垣や江戸時代の平坦面を検出したほか、当該期の山寺に関連する遺構も検出。また、土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品も出土。
県土木交通部流域政策局事業					
14	905	蜂屋遺跡	H28～R1		古墳時代前・中期の旧河道、平安時代末～鎌倉時代初頭の屋敷地を区画する溝、室町時代後期から安土桃山時代の井戸・土坑・河川、江戸時代中期の井戸・溝・土坑等、多数の遺構を検出。法隆寺式軒瓦等、奈良時代の「蜂屋廃寺」関連遺物も出土。
15	926	蜂屋遺跡2			
16	916	江頭南遺跡	R4・5		調査対象範囲にて、古墳時代中期後半～後期前半の築造とみられる墳丘を検出し、埴輪列が出土。墳丘の大半は河川の浸食により消失していたが、埴輪の配置状況から前方後円墳であったことが明らかとなった。
県農政水産部耕地課事業					
17	911	高野遺跡・六地藏遺跡	H30～R5		古墳時代の竪穴建物、奈良時代～平安時代の掘立柱建物・東海道、平安時代の金属生産に関わる可能性のある炉状遺構のほか、溝・土坑・小穴が検出され、それらに伴い土器類(土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・黒色土器・陶器・瓦)、石製品(砥石)、金属製品(刀子・釘・金属滓)が出土。
18	913	妙福寺遺跡	R4		弥生時代の川跡を複数検出し、それらに伴い弥生土器や木製品等が出土。
市町関係事業					
19	921	横江遺跡(その1)	R5	○	調査区南側では古墳時代の掘立柱建物・溝を確認。また、同北側では、平安時代末期から鎌倉時代にかけての遺物を多量に含む谷状地形を確認。
20	922	横江遺跡(その2)	R5・6		古墳時代を中心時期とする掘立柱建物や自然流路および複数条の溝群や土坑等を検出。また、平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物や溝、土坑墓等を検出。それらに伴い土器(土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等)や木製品(農具等)、石製品(石鏃・砥石等)、金属製品(鉄鏃等)が出土した。
21	923	横江遺跡(その3)	R6		弥生時代中期の方形周溝墓、古墳時代を前後する時期の溝・土坑・落ち込み等、鎌倉時代の掘立柱建物群・区画溝・土坑等を検出。それらに伴い土器類(弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等)や木製品(板材・加工材)、石製品(石鏃・砥石等)、金属製品(銭貨・鉄釘等)が出土。
22	924	八町古墳	R6	○	平安時代前期の掘立柱建物跡や小穴を検出し、それらに伴い土器(土師器・須恵器・灰釉陶器等)が出土。

表4 令和7年度文化財関係調査受託事業一覧表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

契約 番号	受 託 事 業 名	区 分	原 因 者	契約額 (税抜)	うち人件費	うち事務費
	(国土交通省関係)					
900	滋賀国道管内遺跡	整理	滋賀国道事務所	58,546,000	35,305,896	14,031,714
	1		小計	58,546,000	35,305,896	14,031,714
	(県土木交通部関係)					
905	蜂屋遺跡	整理	南部土木事務所	1,332,000	874,030	335,309
906	御館前遺跡	整理	東近江土木事務所	1,808,000	1,116,984	455,394
907	福林寺古墳群	整理	南部土木事務所	2,953,000	1,355,074	696,142
908	比江遺跡ほか	整理	南部土木事務所	4,591,000	3,020,196	1,156,976
909	四十九院遺跡	整理	湖東土木事務所	1,329,000	692,406	329,763
910	長野遺跡ほか	整理	湖東土木事務所	6,386,000	4,205,094	1,609,188
912	朽木陣屋跡	整理	高島土木事務所	1,646,000	851,938	414,666
914	阿弥陀寺遺跡	整理	東近江土木事務所	10,638,000	7,042,363	2,677,108
915	林遺跡ほか	整理	南部土木事務所	4,423,000	2,866,133	1,114,518
916	江頭南遺跡	整理	東近江土木事務所	3,376,000	2,201,038	817,061
917	阿弥陀寺遺跡	発掘	東近江土木事務所	33,720,000	11,948,441	7,258,057
918	御館前遺跡	発掘	東近江土木事務所	16,933,000	4,969,437	3,733,344
925	阿弥陀寺遺跡2	発掘	東近江土木事務所	32,732,000	12,200,109	6,522,047
926	蜂屋遺跡2	整理	南部土木事務所	5,984,000	3,970,079	1,508,058
929	林遺跡ほか2	整理	南部土木事務所	2,891,000	1,836,457	728,590
	15		小計	130,742,000	59,149,779	29,356,221
	(県農政水産部関係)					
911	高野遺跡・六地藏遺跡	整理	大津・南部農業農村振興事務所	2,910,000	1,884,205	729,467
913	妙福寺遺跡	整理	湖東農業農村振興事務所	1,735,000	1,105,156	396,907
919	上御殿遺跡	発掘	高島農業農村振興事務所	32,260,000	11,310,080	6,595,497
927	上御殿遺跡2	発掘	高島農業農村振興事務所	38,120,000	13,750,947	8,548,403
928	上御殿遺跡3	発掘	高島農業農村振興事務所	31,058,000	10,495,951	6,565,752
	5		小計	106,083,000	38,546,339	22,836,026
	(市町等関係)					
920	笠原南遺跡	発掘	守山市土地開発公社	176,669,000	60,549,870	33,191,322
921	横江遺跡その1	整理	守山市・(株)丸商	12,527,000	7,539,644	3,101,921
922	横江遺跡その2	整理	守山市・(株)GSユアサ	9,117,000	6,299,629	2,244,263
923	横江遺跡その3	整理	守山市・(株)GSユアサ	1,076,000	654,956	271,062
924	八町古墳	整理	豊郷町・関西電力送配電(株)	945,000	452,092	235,639
930	中畑・古里遺跡ほか	発掘	野洲市・(株)カインズ	22,613,000	5,191,961	4,146,320
	6		小計	222,947,000	80,688,152	43,190,527
	27		合 計	518,318,000	213,690,166	109,414,488

IV 企画事業

市町からの受託により実施してきた地域計画策定支援事業の経験を最大限に活かし、市町や民間事業者、大学等をはじめとする地域の多様な主体との積極的な連携を深め、必要不可欠なパートナーとして認められていくための事業を進め、また、積極的な情報発信事業によって文化財を通した豊かな滋賀づくりへの貢献を進めた。以上により、各種事業の意味・価値の可視化と共有を進め、地域と組織の持続可能性を高めるよう努めた。なお、下記①～⑩の事業は、以下の枠組みで実施した。

1. 多様な主体との「つながり」促進事業 ①～⑦

連携の起点創出事業 ①・②

連携事業の実践 ③～⑦

2. 情報発信事業 ⑧～⑩

①「文化財保存活用地域計画」学習会の企画・実施 [中期計画2-1-(1)対応]

第1回を栗東市と連携して6月3日に実施し（参加者28名）、第2回を多賀町と連携して7月4日に実施した（参加者23名）。参加者の内訳は、県内市町担当者、大学関係者（大阪大学・滋賀県立大学・京都橘大学の教員・学生）等で、上記市町の文化財の保存・活用とその地域計画の課題をともに検討した。また、総括と深掘りの場として第3回（12月19日）・第4回（1月9日）を企画・実施し、それぞれ22名と24名の参加を得た。

②地域の文化財の保存活用事業掘り起こし（年3回） [中期計画2-3-(1)対応]

3回を実施した。守山・草津・栗東・野洲・近江八幡・多賀の各市町の課題を掘り起こし、上記①の企画・実施および当年度の活用事業の委託（草津市1件）に結び付けた。

③市町との連携事業 [中期計画2-1-(1)対応]

i) 連続講座のサテライト開催（年8回）

多賀町と連携し、計画通り8回実施した。

ii) 体験学習等の受託

草津市の文化財保存活用地域計画に基づく文化財活用事業については、先方の都合で実施が見送りとなっていたが、上記②の掘り起こし事業の結果、改めて委託の機会を得て、2月28日に実施した（参加者30名）。

iii) 栗東歴史民俗博物館における連携展示の実施

協会が栗東市内で実施した蜂屋遺跡の調査に関する展示『あの遺跡は今一蜂屋遺跡—』を、栗東歴史民俗博物館と共催した（3月7日～5月10日予定）。

④シルバー人材センター連合会との連携事業 [中期計画2-1-(2)対応]

i) 遺跡発掘技能講習への講師派遣

第1回（10・11月）・第2回（11・12月）を各6日間で実施し、のべ30名が修

了した。

⑤滋賀リビング新聞社との連携事業

[中期計画2-1-(2)対応]

i) 滋賀リビングカルチャー倶楽部への出講

浜大津会場で「近江史跡紀行ーその時代と背景」をテーマに、4月から3月にかけて毎月2回実施した。受講者のべ240名。

ii) 滋賀リビング新聞への取材協力

4月9日に守山市域の取材に協力し(5/31号掲載)、9月25日に草津市域の取材に協力した(11/15号掲載)。

⑥平和堂旅行センターとの連携

[中期計画2-1-(2)対応]

i) 連続講座のサテライト開催(年8回)

計画通り連携し、8回実施した。

⑦大学との連携事業

[中期計画2-1-(3)対応]

i) 調査補助員としての受け入れ

A 5～10月に、2大学(滋賀県立大学・京都橘大学)の文化財専門職を目指す大学3年生と大学院生の2名を調査事業で受け入れた。

B 安土分室で実施した活用事業(あの遺跡は今)に、2大学(滋賀県立大学・京都橘大学)の専攻生を、4名受け入れた。

C 2～3月に、3大学(滋賀県立大学・京都橘大学・同志社大学)の文化財専門職を目指す大学1～4年生の計12名を調査事業で受け入れた。

ii) 大学が実施する教育人材育成での連携

A 専攻生のインターンシップ受け入れ: 京都橘大学から2年生3名を受け入れた(8月18日～22日)。

B オープンキャンパスへの協力: 滋賀県立大学で実施した(7月19日・20日)。

C 高校との3者連携事業: 県高校社会科教育研究会から研修を受託した(10月15日)。

D 講義、人材養成事業等講師派遣: 京都橘大学歴史遺産学実習を受託した(15コマ)

E 調査技術等相互研修の実施: 滋賀県立大学教員・京都橘大学教員(調整後大阪大学へ転籍)に協会連続講座への出講を依頼した。

⑧ホームページよみもののコンテンツの更新

[中期計画3-2-(4)対応]

実施した文化財情報発信事業の内容等をブログ等で発信した。職員が分担執筆する形で、「シガブンシンブン(調査員の逸品)・(新近江名所図会)・(インタビュー／私の履歴書)」を掲載・更新した。

⑨連続講座の企画実践

[中期計画 1 D-3-(1)・3-2-(2) 対応]

調査員が直接携わってきた調査・研究成果をテーマとした講座を6月から1月にかけて実施した。滋賀県埋蔵文化財センター研修室(33名)を本会場とし、サテライト会場となる安土城考古博物館(16名)と関東圏等も含めた自宅受講者(64名)にはオンラインでのライブ中継により実施した。

また、大学との連携事業として滋賀県立大学と京都橘大学の専攻生(6名)、市町・民間事業者との連携事業として多賀町文化財センター(7名前後)と平和堂石山店(10名前後)に対してもオンラインでのライブ中継により実施した。

⑩協会の取り組みの外部発信

i) 情報推進委員会の開催

[中期計画 3-1-(1)・(2) 対応]

情報発信を進め事業成果の社会還元を徹底することにより、協会の使命である「文化財を通した豊かな滋賀づくり」の実現と、それによる協会の社会的存在価値向上を目指して、情報推進委員会を毎月実施し、内部連携の強化、ホームページの更新・SNS・ノベルティーの活用等について検討した。

ii) ホームページの管理・運営

[中期計画 3-4-(2)・(3) 対応]

令和4年度に実施したリニューアル後に必要な微調整・修正を含めた保守のプロセスを実施した。

iii) 文化財行事案内(DM)等の発送

[中期計画 3-2-(6) 対応]

市町・民間企業主催の事業案内も含め、協会が関係する文化財の事業案内を年4回発送した(6月末、9月末、12月末、3月末)。

iv) 協会事業広報媒体の作成と発信

[中期計画 3-2-(7) 対応]

1月25日に同志社大学で実施された専門職希望学生向け説明会で、協会の紹介パンフレットを約80名に配布するとともに、新規のパンフレットを編集した(印刷は次年度予算による予定)。

v) 紀要の刊行

[中期計画 1 D-3-(4) 対応]

3月末に39号を刊行した。

vi) レトロ・レトロの展覧会2025の開催

県埋蔵文化財センターで実施している整理作業(塩津港遺跡、福林寺古墳群、比江遺跡、四十九院遺跡、長野遺跡、高野遺跡・六地藏遺跡、妙福寺遺跡、阿弥陀寺遺跡、江頭南遺跡)の状況を広く県民等に周知するため、同センターロビーで、10月1日～11月10日に実施した(見学者384名)。

vii) あの遺跡は今! Part32の開催

整理作業の現地説明会として、安土城考古博物館内の安土分室で、10月11日・12日に実施した(参加者448名)。

そのほか、協会事業の動画配信として、9月24日から「みなさん覚えていますか? 江頭南遺跡を…」を配信した[中期計画 3-2-(8) 対応]。

V. 保存活用事業

1. 保存処理業務

当協会が受託した整理調査事業において、保存処理業務を実施した。木製品については、ポリエチレングリコール含浸法を用いて、比江遺跡ほか（野洲市・南部土木事務所事業）、横江遺跡（守山市・民間）、佐和山城跡（彦根市・国土交通省事業）から出土した木製品の保存処理を行った。なお、佐和山城跡の木製品については、ポリエチレングリコール含浸法に加えて真空凍結乾燥法も併用し、保存処理を実施した。

金属製品は錆落とし、パラロイドB-72含浸法により出庭遺跡・手原遺跡（栗東市国土交通省事業）の出土金属製品の保存処理を実施した。

2. 写真資料等の貸出および掲載許可等

書籍等への掲載のための写真資料等の貸出や掲載許可等の業務を行っている。今年度は写真資料の貸出は7件（掲載・転載を含む）であった。

VI. 「県立安土城考古博物館」「県立琵琶湖文化館」および「県埋蔵文化財センター」の管理運営事業

「県立安土城考古博物館」

1 展示事業

(1) 特別展

①春季特別展

安土城築城450年・発掘調査85周年記念「安土城・2025—信長の夢のあと—」

内 容：織田信長が築城した安土城は、本能寺の変の後、落城し、天主は焼失し、その後廃城となる。これまでは、築城から落城までの安土城にスポットが当てられてきたが、本展では、廃城後の安土城の変遷、また昭和、平成、令和の発掘調査の成果を紹介した。

展覧会期：令和7年4月26日（土）～令和7年6月15日（日） 45日間

入館者数：5,584人

関連行事：講座『廃城以降から考える安土城の歴史と調査』（全3回）

5月10日（土）「廃城後の安土城」 受講者99人

講師：佐藤佑樹（当館学芸員）

5月24日（土）「安土城 平成の調査」 受講者45人

講師：岩橋隆浩氏（滋賀県文化財保護課）

5月31日（土）「安土城 令和の調査」 受講者63人

講師：松田篤氏（滋賀県文化財保護課）

②秋季特別展

令和7年度秋季特別展 安土城築城450年記念「天下人の城 安土城」

内 容：織田信長が天下人の立場で建てた安土城は、築城後10年を待たずに焼失してしまったため、いまだにその具体的姿は解明できていない。残されたわずかな資料を集め、築城の歴史的背景を考えるとともに、建築に関わったとされる諸職人の手による作品などから、在りし日の姿を推測する手がかりを探った。

展覧会期：令和7年10月11日（土）～令和7年11月16日（日） 32日間

入館者数：4,515人

関連行事：記念対談『天下人の城 安土城』 受講者50人

10月18日（土）

講師：藤田達生氏（三重大大学特任教授）

稲葉継陽氏（熊本大学永青文庫研究センター長）

講座（全2回）

11月1日（土）「安土城の復元を考える 2025」 受講者61人

講師：木戸雅寿氏（滋賀県文化財保護課参事員）

11月9日（日）「瓦研究から見た安土城」

受講者26人

講師：佐藤佑樹（当館）

（２）企画展

①第70回企画展「紫香楽と信楽—宮の造営と焼き物の歴史—」

内 容：信楽では、聖武天皇によって大仏が造られ始め、信楽の宮が営まれる。その後、鎌倉時代には日本六古窯のひとつである信楽焼が始まる。本展では、紫香楽宮の全体像と信楽焼の成立と発展をテーマに、古墳時代から安土・桃山時代までの歴史をたどった。

展覧会期：令和7年7月19日（土）～令和7年9月23日（火・祝） 59日間

入館者数：6,901人

関連行事：シンポジウム 8月9日（土）

受講者94人

『なぜ紫香楽で大仏を造り始め頓挫したのか—聖武天皇と紫香楽宮』

講師：神野恵氏（奈良文化財研究所）

小谷徳彦氏（甲賀市教育委員会）

細川修平氏（滋賀県文化財保護課）

大道和人（当館）

関連講座

8月30日（土）「甲賀の焼き物の歴史」

受講者13人

講師：伊藤航貴氏（甲賀市教育委員会）

ワークショップ「土器にふれて！作って！焼こう！」

8月10日（日）「土器作り」ワークショップ

参加者14人

9月13日（土）「野焼き」ワークショップ

参加者9人

②第71回企画展「近江 道が織りなす物語」

内 容：古代より畿内と他地域を結ぶ交通の要衝であった近江国について、その特色や重要性を考古資料や絵画、古文書を通じて紹介する。

展覧会期：令和8年2月14日（土）～令和8年4月5日（日） 44日間

入館者数：6,145人

関連行事：講座（全5回）

第1回 2月22日（日）「近江は道の国」

受講者44人

講師：瓜生翠（当館）

第2回 3月8日（日）「「近江」を通る鳥たち」 受講者10人

講師：佐藤華音氏（県立琵琶湖博物館）

第3回 3月15日（日）「滋賀県ゆかりの画家 山元春挙」 受講者11人

講師：山口真由香氏（県立美術館）

第4回 3月22日（日）「近江の陶窯をめぐるよもやま話」 受講者15人

講師：鉤真一氏（県立陶芸の森）

第5回 3月29日(日)「発掘された古代の道」 受講者35人
講師：辻川哲朗(当協会)

(3) 特別陳列(①：第2常設展示室、②・③・⑤：望楼ホール、④：企画展示室)

①「明智光秀と近江」(県立琵琶湖文化館との連携企画)

内 容：再発見の書状をはじめ、当館と琵琶湖文化館が収蔵する光秀関係資料を展示紹介した。

展覧会期：令和7年6月3日(火)～令和7年8月3日(日)

関連講座：「中世都市坂本と明智光秀の築城」 6月14日(土)

講師：福島克彦氏(大山崎町歴史資料館館長) 受講者94人

②「城郭出土の笏谷石」

内 容：安土城跡や小谷城跡など、県内の城郭で出土した越前の笏谷石製品を展示紹介した。

展覧会期：令和7年6月17日(火)～令和7年7月19日(土)

③「信楽焼と民藝—柳宗悦に見出された信楽の美—」(県立陶芸の森との連携企画)

内 容：柳宗悦の著書『手仕事の日本』に綴られた言葉を道標に、彼が見出した信楽焼製品を展示紹介した。

展覧会期：令和7年9月2日(火)～令和7年9月28日(日)

関連講座：「アートからみた考古遺物の魅力」 9月7日(日)

講師：松井利夫氏(県立陶芸の森館長) 受講者10人

④「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」

内 容：リニューアル前に第1常設展示室で展示していた、大岩山銅鐸5点(重要文化財)や県所蔵品、古墳時代の王(復元模型)など、旧石器時代から古墳時代の県内出土の考古資料を展示紹介した。

展覧会期：令和7年11月29日(土)～令和8年2月1日(日)

関連講座：連続講座Ⅱ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」(全3回)

⑤「学芸員の自由研究 まぼろしの陶窯—比良焼・杣山焼・臨湖焼」

(県立陶芸の森との連携企画)

内 容：高島市妙見山茶碗窯出土品と陶芸の森所蔵品の比較分析を滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場の協力で試み、その成果を紹介した。

展覧会期：令和8年2月14日(土)～令和8年4月5日(日)

(4) 出かける博物館(大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画)

①でかける博物館 in 滋賀県立安土城考古博物館「寛弘寺古墳群が映す古墳時代」

内 容：大阪府立近つ飛鳥博物館が所蔵する寛弘寺古墳群出土の銅鏡、馬具、土器、埴輪などの資料を展示紹介した。

展覧会期：令和7年12月6日（土）～令和8年2月1日（日）

会 場：当館企画展示室

実 施 館：大阪府立近つ飛鳥博物館

②でかける博物館 i n 大阪府立近つ飛鳥博物館「古墳の終焉—横尾山古墳群—」

内 容：当館と滋賀県が所蔵する横尾山古墳群出土の土器、金属器、鉄滓などの資料を展示紹介した。

展覧会期：令和8年1月24日（土）～令和8年2月23日（月・祝）

会 場：大阪府立近つ飛鳥博物館1階ロビー

実 施 館：当館

2 講座事業

（1）連続講座1「近江の城 調査・研究の最前線」（全4回）

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに近江の城郭について、最新の調査や研究について解説した。

第1回 6月7日（土）「坂本城跡調査の最新成果」 受講者70人

講師：岡田有矢氏（大津市市民部文化財保護課）

第2回 6月21日（土）「中世近江の採石と城」 受講者42人

講師：渡邊貴洋氏（野洲市教育委員会文化財保護課）

第3回 7月5日（土）「発掘調査成果からみた境目の城」 受講者52人

講師：石田雄士氏（米原市教育委員会生涯学習課）

第4回 7月19日（土）「近江の城と笏谷石」 受講者52人

講師：古山明日香氏（長浜市文化財保護室）

（2）連続講座2「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」（全3回）

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに滋賀の縄文・弥生・古墳時代を解説した。（特別陳列Ⅳの展示資料を中心とする内容）

第1回 11月29日（土）「滋賀の縄文時代—湖底遺跡と滋賀里遺跡・穴太遺跡—」

講師：中村健二（当協会） 受講者32人

第2回 12月6日（土）「滋賀の弥生時代—大岩山銅鐸と伊勢遺跡—」

講師：進藤武氏（野洲市歴史民俗博物館） 受講者26人

第3回 12月13日（土）「滋賀の古墳時代—新開1号墳とその周辺—」

講師：宮村誠二（当協会） 受講者19人

（3）連続講座3「豊臣秀長と近江」（全3回）

令和8年度に放映されるNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」や滋賀県観光キャンペー

ーン「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」に関連した企画で、県内では豊臣氏研究の第一人者である太田氏が、豊臣秀長やその家臣について解説した。

講 師：太田浩司氏（淡海歴史文化研究所所長）

第1回 12月14日（日） 「豊臣秀長の生涯～秀吉の補佐役か～」

受講者78人

第2回 1月12日（月・祝） 「秀長家臣・藤堂高虎の生涯～築城家の真相～」

受講者113人

第3回 2月14日（土） 「秀長家臣・小堀正次の生涯～遠州の父の姿～」

受講者82人

3 史跡・城郭探訪、体験学習・ワークショップ等

（1）史跡・城郭探訪

近江風土記の丘の史跡を活用し、特別史跡安土城跡や史跡観音寺城跡と桑實寺を学芸員が案内するとともに、見どころや歴史的背景を解説した。

- ・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」① 4月27日（日） 参加者12人
- ・城郭探訪「安土城跡」① 5月11日（日） 参加者26人
- ・城郭探訪「安土城跡」② 11月2日（日） 参加者23人
- ・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」② 11月23日（日） 参加者13人

（2）体験学習・ワークショップ

- ・親子体験博物館「勾玉を作ろう」 8月24日（日） 参加者14組
 - ・ワークショップ「勾玉を作ろう」 10月11日（土）・12日（日）
- 当協会開催の「あの遺跡は今」と同時開催した。 参加者47組

4 その他の事業

（1）京都新聞との共同開催

第70回および第71回企画展を共同開催し、広報を強化し誘客を図った。

（2）滋賀県・岐阜県・福井県3県（3館）連携事業

① 岐阜県「大関ヶ原祭り2025」での広報

滋賀県・岐阜県・福井県による3県連携の取組のひとつで、10月11日（土）・12日（日）に開催された「大関ヶ原祭り2025」（主催：岐阜県、累計入場者数約7万人）にブース出展し、当館PRのために広報物を配布（1,500部）し、誘客を図った。

② 岐阜関ヶ原古戦場記念館での広報

当館、岐阜関ヶ原古戦場記念館、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館による連携事業として実施し、誘客を図った。

- ・3館連携展示 期間：9月20日（金）～11月24日（月・休）

エントランスホールにおいて、安土城出土瓦復元品の展示、ポスター掲示、

チラシ配架、PR動画の放映を行い、誘客を図った。

・ 3館連携講演会

9月28日（日） 「その後の安土城」 講師：佐藤佑樹(当館) 受講者53人

10月25日（土） 「本能寺の変講師」 講師：高木叙子(当館) 受講者80人

・ 3館連携ワークショップ

10月26日（日） 「勾玉を作ろう」 講師：藤崎高志(当館) 参加者30組

③「山城に行こう！2025」での広報

11月15日（土）・16日（日）に岐阜県可児市で開催された「山城に行こう！2025」（主催：可児市・可児市山城連絡協議会、累計入場者数約6,500人）にブース出展し、当館PRのために広報物を配布（500部）し、誘客を図った。

（3）「こほくキッズミュージアム」（主催：滋賀県）でのワークショップ開催

10月11日（土）に県立文化産業交流会館で開催された「こほくキッズミュージアム」に参加し、「勾玉作り」体験を実施した。参加者102組

（4）美の魅力発信5館ネットワーク事業（文化芸術振興課 美の魅力発信推進室）

10月13日（木）に、美術館・琵琶湖文化館・琵琶湖博物館・陶芸の森・当館の学芸員が、当館および安土城跡において交流会を実施した。参加者13名

（5）滋賀県観光キャンペーン「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」

① オープニングイベント（来場者約6,000人）

② 出張！お城EXPO in 滋賀・びわ湖 2025（来場者約2,000人）

11月8日（土）に安土町文芸の郷で開催された両イベントにブース出展し、当館PRのために広報物を配布し、誘客を図った。

（6）第41回「あづち信長まつり」

11月9日（日）に安土町文芸の郷で開催された「あづち信長まつり」（主催：あづち信長まつり協議会）において、スタンプラリー「集めてつながる、信長の物語」に協力し、誘客を図った。

（7）スタンプラリーへの協力

①「安土築城450年記念 安土の観光スポットを巡るスタンプラリー」

主催：近江八幡観光物産協会

期間：令和7年11月6日（木）～令和8年12月29日（火）

②「世界で一つのオリジナル 御城印スタンプラリー」

主催：甲賀市観光まちづくり協会

期間：令和7年11月8日（土）～令和8年3月31日（火）

③「東おうみ周遊スタンプラリー」

主催：東近江観光振興協議会

期間：令和7年11月8日（土）～令和8年3月6日（金）

広報ポスターの掲示、広報チラシを配架し、台紙・スタンプ台を設置して、誘客を図るとともに、周辺施設への周遊に協力した。（① ② ③）

④「安土ぶらりまちあるきスタンプラリー」（広報協力）

主催：安土城築城450年協議会

期間：令和7年11月6日（木）～令和8年3月22日（日）

⑤「戦国 名城万華鏡デジタルスタンプラリー」（広報協力）

主催：滋賀県、びわこビジターズビューロー

期間：令和7年11月8日（土）～令和8年3月8日（日）

⑥「シガパークめぐり デジタルスタンプラリー」（広報協力）

主催：滋賀県土木交通部 都市計画課 公園魅力向上推進室

期間：令和7年11月13日（土）～令和8年2月28日（土）

5 博学連携事業

（1）博物館実習生の受け入れ

日 程：8月19日（火）～8月24日（日） 6日間

実習生：7人（滋賀県立大学3人、京都橘大学1人、京都美術工芸大学1人、追手門学院大学1人、明治大学1人）

（2）滋賀県立大学のカリキュラム科目「博物館資料保存論」実習の受け入れ

日 程：1月8日（木） 1日間

実習生：51人

（3）学校支援活動

学校の来館学習における体験学習メニュー（火起こし、勾玉作り、土器に触れよう）を実施したほか、学習相談への対応、職場体験の受け入れを行った。

	日 時	学校名	人数	引率	内 容
1	4月19日（土）	中京大学	84 人	3 人	展示解説
2	4月26日（月）	京都橘大学	23 人	2 人	展示解説
3	4月10日（土）	京都橘大学	19 人	2 人	展示解説
4	5月17日（土）	京都橘大学	20 人	1 人	展示解説
5	6月10日（火）	滋賀県立大学	14 人	2 人	展示解説
6	6月17日（火）	南笠東小学校6年生	58 人	5 人	展示解説、土器に触れよう
7	6月27日（金）	龍谷大学	8 人	1 人	取材

8	7月 3日(木)	豊郷小学校6年生	41 人	4 人	土器に触れよう
9	7月20日(日)	富山市立堀川南小学校教師	1 人	—	学習相談
10	8月 2日(土)	彦根市柳町子供会	9 人	8 人	火起こし
11	8月16日(土)	千葉県秀英中学校3年生	1 人	1 人	学習相談
12	8月20日(水)	安土児童クラブ	44 人	5 人	勾玉作り
13	8月21日(木)	安土児童クラブ	33 人	5 人	勾玉作り
14	10月19日(日)	立命館大学	30 人	—	展示解説
15	10月21日(火)	桐原東小学校6年生	71 人	5	土器に触れよう、勾玉作り
16	10月28日(火)	安曇川中学校2年生	3 人	2 人	職場体験
17	10月28日(火) ～30日(木)	能登川中学校2年生	4 人	—	職場体験
18	11月 1日(土)	守山高校2年生	1 人	1 人	学習相談
19	11月 6日(木)	甲南第3中学校	3 人	2 人	土器に触れよう
20	11月 7日(金)	彦根総合高校	11 人	2 人	火起こし、勾玉作り、安土城案内
21	12月16日(火)	北野小学校6年生	103 人	6 人	土器に触れよう、勾玉作り
22	1月20日(火)	中主小学校6年生	33 人	3 人	土器に触れよう
23	1月23日(火)	中主小学校6年生	32 人	3 人	土器に触れよう
24	1月23日(金)	守山中学校1年生	4 人	—	学習相談
25	1月27日(火)	中主小学校6年生	36 人	3 人	土器に触れよう
26	2月 8日(火)	日本女子大学	9	3	展示解説
27	2月28日(火)	守山ドリーム播磨田	2	5	展示解説、土器に触れよう、火起こし
合計			697 人	74 人	

6 その他事業

(1) 外部講座への出講

	開催日	講座名(主催者)	演題等
1	4月 3日(木) ～5日(土)	「滋賀県の100名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」(クラブツーリズム)	同行解説
2	4月 9日(水) ～11日(金)	「滋賀県の100名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」(クラブツーリズム)	同行解説
3	7月 5日(土) ～7日(金)	「滋賀県の100名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」(クラブツーリズム)	同行解説
4	7月30日(水)	花湖さんの打出のコツチ(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課・滋賀県立琵琶湖文化館)	「明智光秀とはどういう人物だったのか」ギャラリートーク
5	8月 7日(木)	滋賀リビングカルチャー倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」(滋賀リビング新聞社)	「発掘された古代の工業地帯―史跡瀬田丘陵生産遺跡群―」

6	8月21日(木)	滋賀リビングカルチャー倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」(滋賀リビング新聞社)	「発掘された古代の工業地帯」
7	9月28日(月)	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館・滋賀県立安土城考古博物館・岐阜関ヶ原古戦場記念館連携講演会(岐阜関ヶ原古戦場記念館)	「その後の安土城 本能寺の変から現在まで」
8	10月11日(土)	こほくキッズミュージアム(滋賀県文化芸術振興課)	ワークショップ「勾玉作り体験」
9	10月16日(水)	郷土史クラブ「安土城跡探訪」(退職教職員互助会 近江八幡・蒲生支部)	「安土城跡」同行解説
10	10月19日(日)	「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー(滋賀県)	シンポジウム「天下人織田信長と安土城」
11	10月25日(土)	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館・滋賀県立安土城考古博物館・岐阜関ヶ原古戦場記念館連携講演会(岐阜関ヶ原古戦場記念館)	「本能寺の変―事件の背景と黒幕諸説を考える―」
12	10月26日(日)	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館・滋賀県立安土城考古博物館・岐阜関ヶ原古戦場記念館連携ワークショップ(岐阜関ヶ原古戦場記念館)	ワークショップ「勾玉作り体験」
13	11月 6日(木)	歴史探訪の旅「安土城趾・安土城考古博物館と六角氏ゆかりの地を訪ねて」(甲南地域史研究会)	「安土城跡」同行解説
14	11月20日(木)	膳所歴史サークル令和7年11月講話(膳所歴史サークル)	「発掘調査からみる近江の鉄生産の歴史」
15	11月22日(土)	第544回市民大学講座(帝塚山大学)	「朝鮮半島から伝わった中世の一切経」
16	11月27日(木) ～29日(土)	「滋賀県の100名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」(クラブツーリズム)	同行解説
17	12月 4日(木)	滋賀リビングカルチャー倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」(滋賀リビング新聞社)	「中世近江の村むら」
18	12月18日(木)	守山市立玉津会館学芸員講座(守山市立玉津会館)	「織田信長と守山について」
19	12月19日(金)	文化財連続講座2025(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	「瓦からみた近江の城郭」
20	12月20日(日)	レイカディア大学「古墳めぐり講座」(レイカディア大学)	「滋賀県の古墳について―安土瓢箪山古墳と雪野山古墳を中心に―」
21	1月10日(土)	「権力と水運科研」滋賀研究集会「中世近江の湖上水運と権力」(科学研究費(基盤研究(B))「戦国時代における地域権力と港町・水運の総合的研究」研究代表:仁木宏)	報告「関津遺跡にみる港湾施設の変遷」
22	1月11日(日)	「権力と水運科研」滋賀研究集会「中世近江の湖上水運と権力」(科学研究費(基盤研究(B))「戦国時	報告「転換期における湖上諸勢力の動向」と全体討論

		代における地域権力と港町・水運の総合的研究」研究代表：仁木宏)	
23	1月15日(木)	滋賀リビング カルチャー 倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」(滋賀リビング新聞社)	「観音寺城と安土城」
24	1月23日(金)	滋賀県博物館協議会情報交換会「どうする!?博物館の防虫・防黴・殺菌」(滋賀県博物館協議会)	報告「防虫・防黴対策のこれまでと今後」と総合討論
25	2月14日(土)	近江八幡ふるさと観光塾(近江八幡市観光ボランティア協会)	「佐々木氏と観音寺城」、「発掘進む安土城そして八幡山城につづく」
26	2月28日(土)	野路小野山製鉄遺跡を考えよう 製鉄ってなんだろう? (草津市教育委員会)	「製鉄と野路小野山製鉄遺跡に関するおはなし」
27	2月28日(土)	安土城築城450年記念事業 市民講座(あづち信長まつり協議会)	「特別史跡安土城の諸説を語りつくす」
28	3月1日(日)	九州国立博物館特別展「平戸モノ語り」リレー講座「絵画から見る、平戸モノ語り」(九州国立博物館)	「片目をつぶる鉄砲隊―静山の写させた合戦図屏風―」
29	3月5日(木)	滋賀リビング カルチャー 倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」(滋賀リビング新聞社)	「博物館の展示ができるまで」
30	3月7日(土)	連続講座「栗太郡衙岡遺跡 古代栗太郡の生産遺跡と郡衙」(栗東市教育委員会)	「古代栗太郡の生産遺跡」
31	3月14日(土)	名城と左義長を巡る特別体験ツアー(安土城築城450年協議会)	同行解説
32	3月15日(日)	名城と左義長を巡る特別体験ツアー(安土城築城450年協議会)	同行解説
33	3月19日(木)	東近江市生涯学習講座ライフロング(公益財団法人東近江市地域振興事業団)	「近江は“道の国”」

7 令和7年度滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会

開催日：令和8年3月12日(木) 14:00～16:30

会 場：会議室

- 議 題：1. 滋賀県立安土城考古博物館の指定管理の指定期間について
2. 前回(令和6年度)運営懇話会における意見とその対応状況について
3. 令和7年度事業の実施状況について
4. 令和8年度事業計画(案)について
5. その他

8 年間入館者数

区 分	令和5年度 (人)	令和6年度 (人)	令和7年度 (人)
個 人	17,364	10,115	35,876
団 体※	22,178	10,496	2,184
総 数	39,542	20,611	38,060
うち、高齢者・障がい者等	6,046	3,433	7,686

(※欄は20人以上の団体料金適用の人数)

9 年間入館料

区 分	令和5年度 (円)	令和6年度 (円)	令和7年度 (円)
個 人	6,223,340	3,051,720	18,249,040
団 体	9,694,560	4,152,320	891,580
計	15,917,900	7,204,040	19,140,620

「県立琵琶湖文化館」

1. 施設の管理

(1) 施設設備の小修繕

日常的な管理を行うとともに、県の点検マニュアルに基づいた施設点検を実施し、結果を県に報告した。また、必要に応じて小修繕を行う等、適切な維持管理に努め、周辺の美化にも尽力した。

修繕箇所) 自動火災感知器および誘導灯の修繕、地下給水管漏水修繕、設備点検用作業船修繕、電話設備改修等

(2) 各種法定点検の実施

施設設備について、業者委託による定期的な保守点検を実施した。

- ・ 建築基準法12条に基づく点検（施設・建築設備・防火設備）
- ・ 消防法に基づく消防設備点検（機器点検・総合点検）
- ・ 電気事業法に基づく高圧受電設備点検（保守点検・停電保守点検）
- ・ フロン排出抑制法に基づく第1種特定製品点検（定期点検・職員による簡易点検）

(3) 収蔵品の管理

収蔵品の管理については、県（学芸員）からの指示を受けて必要とされる業者の手配および支出行為等を行った。収蔵庫においては、年間を通じて文化財害虫や空中菌の生息状況のモニタリング、計画的な燻蒸を実施するなど、適切な収蔵環境の維持に努めた。あわせて、寄贈図書のデータ登録・整理を進め、過去に開催した展覧会のポスター等をデジタルデータ化し、館の活動記録として多角的に活用できるよう整理した。

2. 展覧会事業

(1) 琵琶湖文化館地域連携企画展

県内の2地域と連携し展示公開を行う地域連携企画展を開催し、リーフレットやパネルを作成する等、開催支援を行ったほか、準備・開催にかかる業者の手配および支出行為等を行った。

①「明智光秀と近江」

令和6年12月に再発見された光秀の書状をはじめ、琵琶湖文化館と安土城考古博物館が収蔵する明智光秀関係の資料を展示紹介した。

会 期 令和7年6月3日(火)～8月3日(日)

会 場 滋賀県立安土城考古博物館（近江八幡市）

主 催 滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県立安土城考古博物館

入場者数 5, 623人

関連事業 関連講座「中世都市坂本と明智光秀の築城」 6月14日（土）

講師：福島克彦氏（大山崎町歴史資料館） 参加94人
滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」 7月30日（水）
講演&ギャラリートーク 参加40人

②「滋賀県立美術館 滋賀県立琵琶湖文化館 名品選」

滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会の開催を記念し、両館の日本美術・郷土美術コレクションの中から厳選した名品を紹介した。

会 期 令和7年9月13日（土）～11月30日（日）

会 場 滋賀県立美術館（大津市）

主 催 滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県立美術館

入場者数 8,996人

関連事業 ギャラリートーク 11月24日（月・振休）

講師：山口真有香氏（滋賀県立美術館）

萬年香奈子（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

参加者15人

3. 普及啓発事業

（1）滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」全7回

県と協働のもと、滋賀の文化財にまつわる最新情報を県民に向けて積極的に発信する「滋賀の文化財講座」を開催した。ネーミングライツパートナーに株式会社国華荘（おごと温泉：びわ湖花街道）の協力を得て、6回の座学と地域連携企画展の現地会場で講演とギャラリートークを実施した。また、オンライン配信により県内5施設をサテライト会場とし、オンライン配信での受講も可能とした。

主 催 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課・滋賀県立琵琶湖文化館

後 援 滋賀県文化財保護連盟・公益社団法人びわこビジターズビューロー・
公益財団法人滋賀県文化財保護協会

座学メイン会場 コラボしが21（大津市打出浜2-1）3階大会議室

第1回 5月21日（水）

「近江梵鐘紀行」

講師 古川史隆（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

第2回 6月18日（水）

「湖国の文化財建造物～新県指定と近年の保存修理状況～」

講師 坪田叡伴氏・佐々木悠貴氏（滋賀県文化財保護課）

第3回 7月16日（水）

「新しい文化館建設地と大津城」

講師 北原治（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

第4回 7月30日（水）講演&ギャラリートーク【現地】

「地域連携企画展「明智光秀と近江」を楽しむ」

講師 高木叙子氏・瓜生翠氏（滋賀県立安土城考古博物館）

第5回 8月20日(水)

「江戸絵画のみかた」

講師 萬年香奈子(滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第6回 9月17日(水)

「神仏の居るところ(山編)」

講師 和澄浩介(滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第7回 10月15日(水)

「近江の書跡・典籍、古文書とその魅力」

講師 寺前公基(滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

<講座参加人数>

【主催】	定員	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
メイン会場	(200)	109人	112人	137人	—	115人	138人	90人
講演&ギャラリートーク	(40)	—	—	—	40人	—	—	—

小計741人

サテライト会場	定員	第1回	第2回	第3回	第5回	第6回	第7回
彦根市 稲枝地区公民館	(15)	10人	10人	11人	10人	10人	10人
長浜市 曳山博物館 伝承スタジオ	(30)	2人	2人	7人	3人	3人	5人
東近江市 能登川図書館 集会ホール	(30)	—	—	—	3人	—	—
湖南市 共同福祉施設サライ7甲西	(20)	—	7人	10人	7人	6人	11人
米原市 米原市役所 3階会議室	(30)	2人	4人	5人	3人	6人	1人
計		14人	23人	33人	26人	25人	27人

小計148人

[合計 889人]

(2) 研究紀要の発刊

学芸員の調査研究成果の発表および当該年度の活動実績報告(年報)として「研究紀要第42号」を発刊した。

4. 情報発信事業

(1) ウェブサイトの充実

- ・琵琶湖文化館の活動や県内の文化財に関する情報等を紹介するコンテンツを随時更新し、県民サービスの向上を図った。
- ・「収蔵品紹介」や、収蔵品の他館への貸し出し状況がわかる「収蔵品公開情報」を積極的に発信することで、休館中の琵琶湖文化館の作品に親しめる機会となるよう努めた。
- ・新文化館建設に向けての機運醸成を図る県の取り組み等を紹介した。

(2) 埋文センター等での情報発信

ホームページの更新にあわせて屋外掲示板に情報を見やすく掲示し、近隣住民の方に活動をPRしたほか、埋文センターにおいても印刷物を掲示するなど情報の発信に努めた。

(3) 報道機関への資料提供等

報道関係機関等に対し、適宜情報提供を行った。

(4) 各種問い合わせへの対応・保存支援

一般からの電話や来館等の問い合わせに対し、適切に対応した。

「県埋蔵文化財センター」

1. 埋蔵文化財の遺物および資料の収蔵・保管

(1) 出土遺物、資料の受け入れ

当協会が実施した整理調査で報告書が刊行された上砥山遺跡など4遺跡の出土遺物、図面資料、写真資料を受け入れ、収蔵した。収蔵資料は土器98箱、石器2箱、木製品16箱、金属器3箱、その他1箱で合計120箱である。図面資料はファイル5冊、遺物実測図（鉄器・木器）371枚、成果簿等1冊、プレパラート（樹種同定）4箱、写真資料はアルバム3冊、デジタル写真データ4組である。

(2) 資料の貸出等

①資料の貸出

博物館や資料館の展示等に資料の貸出を実施している。今年度は、23件の貸出を実施した。

②資料調査の受入

出土資料活用の一環として、学術研究等の目的のための資料調査の申し出を受け入れている。今年度は21件の個人・団体を受け入れた。

③写真資料等の貸出および掲載許可等

書籍等への掲載のための写真・図面資料等の貸出や掲載許可等の業務を行っている。今年度は写真資料の貸出は46件（掲載・転載・撮影等を含む）であった。

(3) 図書整理

①図書資料の受入

県外等から発掘調査報告書、年報、紀要、一般図書等955冊の寄贈を受けた。受け入れ図書は県外報告書を除き登録番号を添付し、書庫に保存した。また、書名、発行所、登録番号等のデータを入力し保存し、資料の検索や在庫の問い合わせに対応した。

②図書資料の閲覧

埋蔵文化財関係者や研究者、学生、一般にも書庫を開放し、図書資料の閲覧を行えるようにしている。今年度には延べ6人の閲覧があった。

2. 展示事業

(1) ロビー展示

1階ロビーにおいて常設展示を行い、一般公開し、埋蔵文化財に対する知識の普及啓発に努めた。

ア. 「湖国近江の自然災害と人々」

令和6年度下半期から継続して7月5日まで「湖国近江の自然災害と人々の活動」と題して、滋賀県における地震を始めとした自然災害について写真パネル、文字パネル等を用いて紹介を行った。

イ. 「近江 陸のみち・湖のみち」

7月25日より「近江 陸のみち・湖のみち」と題して、滋賀県における水陸交通に関する遺跡について写真パネル、文字パネル等を用いて紹介を行った。

ウ. 「相谷熊原遺跡出土土偶」

①10月27日から11月21日と②3月2日から3月27日の2期にわけて、一般の方からの公開の要望の多い相谷熊原遺跡出土土偶の公開を行った。なお、上記以外の期間については、レプリカの展示を行った。

(2) JR湖西線大津京駅構内での文化財関連展示

JR大津京駅構内の展示場で、埋蔵文化財保護の普及・啓発を目的とした展示を4回実施した。

- ① 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡－穴太廃寺跡－」
国指定史跡穴太廃寺跡について遺物とパネルを展示。（～5月）
- ② 「湖西線周辺の遺跡－滋賀里遺跡－」
滋賀里遺跡について遺物とパネルを展示。（6月～9月）
- ③ 「湖西線周辺の遺跡－北大津遺跡－」
北大津遺跡について遺物とパネルを展示。（10月～1月）
- ④ 「湖西線周辺の遺跡－宇佐山城跡－」
宇佐山城跡について遺物とパネルを展示。（2月～）

3. 普及啓発事業

(1) 収蔵品を活用した普及・啓発事業

県内小・中学校等の学校教育の一環として実施される職場体験等の要請を積極的に受け入れ、展示見学や出土品を通しての学習、鍛冶体験等の体験学習を実施した。史跡近江国庁跡の現地を案内するとともに、出土品を使った出前授業なども行った。学校教育と同じように一般からの要請も積極的に受け入れ、出土品を用いた出前講座等も行った。また、「みどりのつどい」、「文化ゾーンフェスティバル」等のイベントに併せて埋蔵文化財センターの一般公開等文化財の普及に努めた。

普及事業は学校教育関係が出前授業5校、職場体験5校、一般関係の施設案内・展示見学2団体、イベント3回を行った。また、体験学習事業として、夏を中心に小学生から一般を対象に古代の染め物体験・勾玉づくり体験、鋳造体験、鍛冶体験を4回実施し、67人が参加した。普及事業の参加者総数は752人であった。

(2) ホームページの活用

埋蔵文化財センター開催の「ロビー展示」や「大津京駅構内展示」等行事を随時紹介し、埋蔵文化財センターで実施した体験学習などの成果を公開し、広報に努めた。また、各種申請用紙を掲載し業務の省力化に努めた。

(3) 執筆・編集関係

『埋もれた文化財の話 46』の編集

ロビー展示の解説をかねて「近江 陸のみち・湖のみち」をテーマに滋賀県における交通に関する遺跡についてまとめ、執筆・編集した。

4. 施設の維持管理

(1) 庁舎維持管理委託業務

埋蔵文化財センターの施設の維持管理に関して、防災点検、水質点検、建物点検等12項目の定期点検業務を委託して実施した。また、敷地内洗出し舗装/部分修繕、冷温水発生機/冷却水配管・送水ポンプの水漏れ・電源異常の修繕、高架水槽/電源蓋の回収、ブラインド1基改修、自動ドア/センサー・施錠鍵交換、2階女子トイレ換気扇、電話回線をINS回線から光回線への変更業務を行った。

(2) 収蔵庫・収納品点検

出土遺物を収納している3ヶ所の収蔵庫（湖西線収蔵庫、大石収蔵庫、早崎収蔵庫）を維持管理している。月に1回の点検を行い、資料の収蔵状況、収蔵庫の外壁や屋根等の損傷、雨漏り、害虫、施錠の状態等を確認した。早崎収蔵庫と大石収蔵庫は6月と10月に敷地内の除草、および消防設備点検を行うとともに、建築基準法に基づく建物点検を行った。

大石収蔵庫では、前年度3月に2階建て収蔵庫の出入口のアルミ部分が壊されたことによる、破損箇所の修繕を行った。

早崎収蔵庫では、空調設備の室外機に極度の劣化がみられ、倒壊の可能性があるため、フロンガスを抜いた上で撤去した。また、スズメバチの巣の駆除、窓ガラスの修繕を行った。

5. 施設の利用

今年度の入館者総数は3,142人であった。団体見学等の申し込みは、主に施設見学等の一般の団体である。

VII. 文化財保護資金貸付事業および文化財活用資金貸付事業

(1) 貸付審査会

令和7年度は、文化財保護資金貸付事業および文化財活用資金貸付事業について、借入要望がなかったため開催していない。

(2) 総貸付件数（累計）

・文化財保護資金	令和8年3月末	369件
・文化財活用資金	令和8年3月末	2件

(3) 貸付残高

・文化財保護資金	令和8年3月末	9件	32,267,500円
【内訳】			

単位：千円

貸付年度	貸付人	償還金額	償還済額	未償還額
1	日野大窪町	3,580	3,070	510
2	安養寺	5,800	4,140	1,660
4	不動寺	10,000	4,290	5,710
4	桑実寺②	7,000	3,000	4,000
5	徳源院	10,000	2,860	7,140
5	日野新町	3,300	1,320	1,980
5	三谷家	4,027.5	1,160.0	2,867.5
6	森家	10,000	9,400	600
6	小田神社	7,800	0	7,800
合計	9件	61,507.5	29,240.0	32,267.5

・文化財活用資金	令和8年3月末	0円
----------	---------	----